

被災地復興支援基金「BRIDGE SETOUCHI 基金」での連携初！

萩原工業・倉敷成人病健診センターでブルーシードバッグをコラボ製作

6 月 1 日～「倉敷限定！女性ドック」で配布を開始

— 受診者 1 人につき 200 円を災害復興へ —

倉敷成人病健診センターは、倉敷市在住の女性を対象とした「倉敷限定！女性ドック」の受診特典に萩原工業株式会社(代表取締役社長：浅野和志)と共同製作した「KMC オリジナル BRIDGE SETOUCHI ブルーシードバッグ」の配布を 6 月 1 日から開始いたします。受診者 1 人につき 200 円が防災・減災・災害復興の基金として役立てます。

【被災地復興支援基金「BRIDGE SETOUCHI 基金」】

岡山県のコミュニティ財団 みんなでつくる財団おかやま(岡山県総社市／代表理事 浅野 直)の冠基金事業の一環に萩原工業が設立した被災地復興支援基金です。BRIDGE SETOUCHI 基金に集まった支援金は、災害支援活動や防災に関する活動を行う団体へ毎年助成されています。

【ブルーシードバッグの基本情報】

国産ブルーシートのリーディングカンパニー萩原工業が製造する、再生原料を 60%以上使用した OD グリーンシートを本体生地に使用します。同生地を使用した製品「ターピー防災・減災シート#3000」は国内唯一の環境ラベル「エコマーク」認定を取得しています。

【倉敷限定！女性ドック】

倉敷限定！女性ドックは 2020 年に倉敷市にお住いの普段、健診を受ける機会が少ない主婦の方々の健康を全力でサポートしたいとの思いから始まった特別なプランです。

実施期間：2023 年 6 月 1 日～2024 年 3 月 28 日

コース：①40 歳以上 7,700 円（税込）②39 歳以下 11,000 円（税込）※①②通常 23,100 円（税込）

倉敷市民の健診受診率向上と災害復興支援に貢献する社会構築の一助を目指します。

是非、マスコミの皆さまにご取材いただきたく、ご案内をさせていただきます。

合同取材対応日；2023 年 6 月 1 日（木曜日）10:00～11:00 頃

※当日の予定につきましては、事前にご連絡いただければ詳細をご案内させていただきます。

※上記以外でも取材対応は可能ですので、ご連絡いただければ幸いです。



<本件に関するお問い合わせ先>

倉敷成人病センター 広報推進室 佐藤健司、小川慶子

E-mail : pr_fkmc@fkmc.or.jp

TEL 086-422-2111（代表） FAX 086-422-4150（代表）

【災害復興プロジェクト「BRIDGE SETOUCHI」】

2020 年萩原工業が始めた災害復興プロジェクト。ブルーシートの製造ロスをトートバッグにアップサイクルし、売上の一部を防災・減災・災害復興の基金として役立てる活動を続けています。BRIDGE プロジェクトの由来は、2016 年熊本地震を機に誕生した「BRIDGE KUMAMOTO」。災害復興の役目を終えた使用済のブルーシートが復興の「種」となるよう「ブルーシード（種）バッグ」と名付けて販売を開始。その収益は復興資金として寄付されました。

2018 年倉敷市真備町を襲った西日本豪雨では「BRIDGE OKAYAMA」が立ち上がり、同様の活動を行ない復興の力となりました。萩原工業は「BRIDGE OKAYAMA」への参画をきっかけに「災害のない平常時にも、この活動を引き継ぎたい」という想いで、持続可能な「BRIDGE SETOUCHI」を立ち上げました。「BRIDGE SETOUCHI ブルーシードバッグ」の収益の一部は、被災地復興支援基金「BRIDGE SETOUCHI 基金」と一般社団法人 BRIDGE KUMAMOTO(熊本県熊本市／代表理事 佐藤かつあき)に分配して贈られ、防災・減災・災害復興の基金として役立てております。

※受診者数(バッグ配布数)×200 円が「BRIDGE SETOUCHI」と「BRIDGE KUMAMOTO」に分配して贈られます。



【ブルーシードバッグのコラボ製作で実現したいこと】

一般財団法人 倉敷成人病センターグループの一翼を担っている、私ども倉敷成人病健診センターは、健康診断を通して皆さまの健康維持・増進にお役に立つことができるよう日々取り組んでおります。

BRIDGE SETOUCHI 基金は、災害復興のために何かしたいという気持ちを抱える人の「みんなの貯金箱」です。萩原工業様はじめ BRIDGE プロジェクトメンバーが繋いできたバトンを定期健康診断の指定健診施設という縁あって、私たち異業種が受け継ぎました。この輪を広めたいと感じる方が一人でも多く賛同していただければうれしく思います。

当健診センターはこの取り組みを通して、倉敷市民の健診受診率向上と疾患の早期発見・治療へと繋げ、さらには BRIDGE SETOUCHI の枠組みを使用し、災害復興支援に貢献することで、人・街・企業・被災地の全ての方々が恩恵を受けられる持続可能な社会構築の一助を目指します。

倉敷成人病健診センター センター長 進 智子



<本件に関するお問い合わせ先>

倉敷成人病センター 広報推進室 佐藤健司、小川慶子

E-mail : pr_fkmc@fkmc.or.jp

TEL 086-422-2111 (代表) FAX 086-422-4150 (代表)